

財務コンサルタントを活用するメリット

現代のビジネスは、国際競争の激化やテクノロジーの進化、市場環境の変化などによって、状況が常に変動しています。こうした中で企業が安定して成長を続けるには、計画的かつ柔軟な財務運営が求められます。

一方で、中小企業やスタートアップでは、財務に関する専門知識を持つ人材が社内にはいない場合が多いです。財務コンサルタントを活用することで、外部の視点から客観的なアドバイスを受けられ、見落としがちな課題にも対応しやすくなります。

また、税制や会計基準などの変化にも対応した具体的なアドバイスを受けられるため、実務の精度やスピードも高められます。スポット的な相談も可能で、経営判断の裏付けとしても役立ちます。

財務コンサルタントの仕事内容

財務コンサルタントの業務は、企業の財務状況や抱える課題、目指す目標に応じて内容が大きく変わります。中小企業と大企業、新興企業と成熟企業では求められる支援も異なります。以下は代表的な業務とその具体例です。

財務分析と診断

財務諸表をもとに、収益性・安全性・効率性といった観点から現状を数値で可視化します。たとえば、売上総利益率や自己資本比率などの財務指標を使って、問題点を洗い出します。過去数年の推移を追って傾向を分析することもあります。

財務戦略の策定

資金の使い方や利益確保のための方針を立てます。たとえば、在庫回転率を改善してキャッシュフローを良くする、利益率の高い商品に注力する、赤字事業の撤退を検討するなど、実行可能な戦略を提示します。

資金調達支援

銀行融資や補助金の活用、出資者の紹介など、資金を確保するための支援を行

います。融資を受ける際には、事業計画書の作成支援や金融機関との交渉の立ち会いも行います。

M&A（企業の合併・買収）支援

買収対象企業の財務データを調査・分析（財務デューデリジェンス）し、適正な買収価格を算出します。買収後の財務統合支援（PMI）も含め、取引全体をスムーズに進める役割を担います。

事業再生支援

赤字が続いている企業に対し、資金繰りの改善やコスト構造の見直しを行い、再建計画を作成します。債権者との調整や、返済条件の変更交渉を支援するケースもあります。

コスト構造の見直し

部門別にコスト構造を分析し、無駄な支出を明確にします。たとえば、外注費の見直し、仕入れ条件の再交渉、間接費の削減提案など、具体的なコスト削減策を提示します。

内部統制の構築・評価

経理処理や承認フローに不正やミスが起きにくい仕組みを整備します。たとえば、支出に対するチェック体制の構築や、職務分掌（役割分担）の見直しなどを通じてガバナンス強化を図ります。

財務教育・研修経営層や現場責任者を対象に、損益分岐点の考え方やキャッシュフロー管理などをテーマとした研修を実施します。数字に強い組織をつくる支援も、重要な業務のひとつです。